

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

西暦	年月日	鳥居川水位	気象状況	被害状況
1868	M1.5.20	3.33m	霧雨	4月上旬から5月中旬に亘って霧雨により、5月20日には湖水位が1 1 尺まで上昇する。水田約15,000ha冠浸水。約275千石の減収。
1870	M3.9.18	不明	暴風雨	17日、18日の両日に亘り暴風雨、堤防が多く箇所決壊し、家屋や田畑の浸水による被害が多かった。
1875	M8.8.12	1.35m	不明	田畑冠水4,204ha、約84千石の減収。
1876	M9.9.29	0.94m	暴風雨	田畑冠水5,313ha、約106千石の減収。
1877	M10.10.11	0.73m	暴風雨	各河川増水、堤防が決壊し、田畑2,796haが冠水する。鳥居川水位は0.73mは10月27日の観測値、約56千石の減収。
1881	M14.7.19	1.38m	不明	田畑冠水4,474ha、約89千石の減収。
1884	M17.7.19	2.12m	不明	大津で7月12～19日に393mm、7月14日に90mmの大雨があり沿湖の田畑冠浸水8,109haの被害が生じた。約162千石の減収。
1885	M18.7.4	2.71m	台風	大津で6月15～17日に219mm、6月25日～7月1日に亘って369mmの雨量があり、11,815haの田畑が冠浸水し、浸水戸数19,650戸、浸水日数140日に及んだ。約225千石の減収。
1890	M23.5.10	1.97m	不明	大津で4月11日～5月7日に総雨量475.4mmの降雨があり、田畑8,662haが冠浸水を受ける。
1892	M25.7.28	1.64m	不明	5月以来長雨、湖水位が上昇し溢水する。田畑冠
1895	M28.8.9	2.12m	前線	7月24日～8月5日の間の雨量は木之本720.3mm、長浜503.5mm、彦根327mm、大津299.9mmであった。約164千石の減収。死傷者14名、家屋全半壊102戸、浸水家屋数4,559戸、田畑冠浸水10,655ha

出典:「治水の歴史をたずねて」(琵琶湖工事事務所)

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

西暦	年月日	鳥居川水位	気象状況	被害状況
1896	M29.9.13	3.76m	台風前線	9月3日から12日にかけての10日間に1,008mm、7日は1日で597mmという未曾有の大豪雨があり、死傷者111人、流失及び全壊住家1,749戸、半壊住家6,136戸、浸水家屋28,000戸、浸水面積14,800haの被害が生じ、浸水日数237日に及んだ。
1897	M30.10.2	1.25m	不明	9月1日～8日の間の降雨量は、八幡226.7mm、彦根159mm、今津182mmで各河川が増水し、堤防、道路、橋梁等の破損が生じた。
1899	M32.10.7	1.48m	暴風雨	10月4日～7日の間の降雨量は、彦根145mm、大津128mm、八幡106mmで県下至る所で河川が氾濫した。田畑の浸水は3,692ha
1903	M36.7.25	1.47m	不明	田畑浸水5,484ha。7月6日～8日の間の降雨量は大津242.0mm、草津204.3m、野洲281.6mmで8日の一日で大津198.3mm、草津174.7mm
1904	M37.9.17	0.99m	台風	9月15～17日の間の降雨量は、彦根204.2mm、愛知川306.5mm、長浜321mmで道路、橋梁、堤防の損害が甚大であった。鳥居川水位 . 9
1905	M38.7.6	1.05m	不明	6月18日～25日の間の降雨量は、大津232.8mm、彦根203.1mm、愛知川400.6mm、沿湖の水田が浸水する。
1907	M40.9.11	1.30m	不明	浸水面積3,273ha、浸水日数50日
1912	T1.9.23	0.63m	台風	22日～23日にかけての24時間雨量は200mmに達し、各河川が増水し、大きな被害が生じた。坂田郡での死傷者30余人、愛知、坂田両郡の住家全壊200戸、高時川で55間に亘って堤防が決壊した。鳥居川水位
1913	T2.10.3	0.55m	台風	10月2～3日にかけて彦根160mm、土山286mmの降雨量があり、野洲、愛知、犬上等の河川は増水して堤防が欠潰、橋梁が多く流失し、死者42名、住家の流失崩壊124戸、住家浸水3,060戸の被害が生じた。鳥居川水位0.55mは10月23日の観測値である。
1914	T3.6.30	0.69m	梅雨前線	南部地方に雷雨性の豪雨があり、特に鬮者2名の
1916	T5.7.2	1.10m	梅雨前線(低気圧)	6月16、17日の両日に200mmを越える豪雨があり、その後も引き続き降雨があったことから、湖水位が上昇し、死傷者12名、床上浸水422戸、床下浸水318戸の被害

出典:「治水の歴史をたずねて」(琵琶湖工事事務所)

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

西暦	年月日	鳥居川水位	気象状況	被害状況
1917	T6.10.29	1.43m	台風	流域平均雨量236mmに及び、住家の全半壊62戸、床上浸水555戸、床下浸水2,984戸の被害が生じ、浸水日数は50日に及んだ。
1921	T10.7.16	1.13m	台風	流域平均雨量205mmに及び、田畑浸水は39,672ha生じた。
1921	T10.9.28	1.07m	台風	9月23日～25日の間の降雨量は彦根180mm、政所302mmで、死傷者26名、住家全半壊832戸、田畑、宅地の浸水面積55,514haに及んだ。
1923	T12.7.16	1.01m	梅雨前線	6月初旬から梅雨前線による豪雨が継続的に発生したところへ、6月30日朝からの日雨量が100mmを越すに至り、湖水位が上昇して約3,000haの田畑が浸水した。
1925	T14.7.13	0.70m	梅雨前線	11日～12日に雷雨があり、各地に100mmを越す雨量があり、各河川は一時に増水、氾濫して家屋、田畑が浸水した。
1927	S2.3.10	0.28m	融雪洪水 低気圧	湖北地方は9日夜大雨に見舞われ、融雪と共に各河川が一時増水、多くのところで堤防が決壊し、家屋浸水が生じた。
1928	S3.6.18	0.65m	梅雨前線	17日午後より湖西、湖南地方は大雨となり、大戸川30間程決壊し、田畑3ha程埋没する。鳥居川水位は7月4日の観測値である。
1930	S5.7.9	0.61m	梅雨前線	8～9日の間に湖北地方を中心とした豪雨があり、中河内で331mm、木之本189mm、また8～11日の4日間に中河内では480mmを記録。このため、姉川、高時川、余呉川等の各河川は大正10年来の大増水となり、堤防決壊等が生じ、浸水田畑990ha、浸水家屋数百戸の被害を蒙った。鳥居川水位0.61mは14日の観測値である。
1932	S7.7.8	0.75m	梅雨前線	7・8日に雷も交えて各地に大雨があり、愛知川、政所方面では200mmを突破し、各河川が増水氾濫した。大津市石山町では人家100戸が浸水、田畑も多く浸水した。鳥居川水位0.75mは7月11日の観測値である。
1934	S9.9.21	0.30m	室戸台風	19～21日の間の降水量は彦根20mm、政戸144mmと少ないが、最大瞬間風速39.2m/sを記録する強風が吹き、湖上の風浪は激烈を極め竹生島で7.6m、今津～舟木一帯で6mに達した。死者47名、負傷者641名、住家の全半壊1,602戸の被害を蒙った。
1935	S10.6.30	0.70m	梅雨前線	27～30日にかけて湖西を中心に300mmの降雨があり、死傷者10名、住家全半壊91戸、浸水家屋2,940戸、1,117haの田畑冠浸水が生じた。鳥居川水位0.70mは7月4日の観測値である。

出典:「治水の歴史をたずねて」(琵琶湖工事事務所)

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

西暦	年月日	鳥居川水位	気象状況	被害状況
1938	S13.8.5	1.09m	梅雨前線	7月30日～8月4日の間に比良山地で500mm余り、鈴鹿山脈で800mm近い降雨量があり、死傷者7名、全半壊住家25戸、床上浸水502戸、床下浸水1,360戸、田畑の浸水2,363haの被害が生じ、浸水日数は22日に及んだ。
1941	S16.7.1	0.67m	梅雨前線	6月25～29日の間に湖南の大津付近で276mm、彦根で188mmの降雨量があり、家屋の全半壊38戸、床上浸水1,500戸、床下浸水3,238戸、田畑浸水6,51
1944	S19.10.9	0.53m	台風	7日の1日雨量が政所334mm、水口271mmであった。被害は死傷者4名、家屋全半壊58戸、床上浸水1,028戸、床下浸水4,068戸、田畑の冠浸水674haであった。
1945	S20.10.12	0.92m	阿久根台風	2日から10日までに平地で200～300mm、山地では300～450mmの大雨が降り、姉川、余呉川、百瀬川等の堤防決壊もあって1,296haの田畑が浸水し、床下浸水6戸の被害が生じた。
1948	S23.7.27	0.38m	梅雨前線	23～24日にかけて降雨があり、特に湖北では200mmを突破した。床上浸水102戸、床下浸水760戸、田畑浸水1,482haの被害が生じた。
1949	S24.7.31	0.55m	ハスター台風	28～30日の間に彦根133mm、北小松265mmの降雨量があり、死傷者2名、全半壊7戸、床上浸水160戸、床下浸水1,344戸、田畑の冠浸水4,
1951	S26.7.17	0.73m	梅雨前線	7～17日の間の降雨量は彦根294mm、北小松425mmであり、死傷者4名、全半壊13戸、床上浸水13戸、床下浸水412戸、田畑冠浸水2,335haの
1953	S28.8.16	0.27m	寒冷前線	14日夜半から15日の朝にかけて、多羅尾村を中心に甲賀郡南東部一帯に300mmを越す豪雨が生じた。とくに水口で53mm、大原では63mmの時間雨量を記録した。このため多羅尾村では、河川が増水し、山津波が随所で発生し、全村の40%の家が壊れたり流されたりして、死者44名が出た。県下の被害は、死傷者188名、全半壊240戸、床上浸水736戸、床下浸水2,165戸、田畑冠浸水7,621haの大災害が生じた。
1953	S28.9.27	1.00m	台風13号	23～25日の間の降雨量は、彦根183mm、春照261mm、安曇川上流朽木村や鈴鹿山脈では400mm以上の豪雨に見舞われ、河川のいたるところで堤防が決壊し、氾濫したため、甚大な被害が生じた。死傷者544名、全半壊1,720戸、床上浸水9,390戸、床下浸水29,284戸、浸水日数20日に及んだ。
1959	S34.8.16	1.00m	台風7号	12～14日の間に彦根280mm、政所528mm、市場526mmなど県下全域に大雨があり、死傷者22名、全半壊90戸、床上浸水2,434戸、床下浸水17,081戸、田畑埋没1,020haの被害が生じた。
1959	S34.9.30	0.87m	伊勢湾台風	24～26の間に彦根338mm、政所523mmの降雨があり、特に26日15時～21時にかけての6時間に君ヶ畑300mm、政所260mmの豪雨が生じて、県下全域にわたる河川の堤防が決壊・氾濫し、死傷者130名、全半壊1,666戸、床上浸水1,309戸、床下浸水19,816戸、田畑埋没823haの被害が生じた。

出典:「治水の歴史をたずねて」(琵琶湖工事事務所)

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

西暦	年月日	鳥居川水位	気象状況	被害状況
1961	S36.7.1	1.08m	梅雨前線	24~29日の6日間に彦根で376mmを し、死傷者2名、全半壊5戸、床上浸水223戸、床下浸水2,445戸、湖辺の水田4,688haが浸水した。浸水 日数10日に及んだ。
1965	S40.9.18	0.92m	24号台風	13~17日の間に鈴鹿山脈・比良山地に500~700mmの大雨があり、各河川が増水、破堤や浸水が生 じ、死傷者22名、全半壊392戸、床上浸水1,612戸、床下浸水12,282戸、浸水面積3,100haの被害が生 じ、浸水日数は10日間に及
1972	S47.7.16	0.94m	梅雨前線	9~13日の間に山岳部で500mm、平野部で250mmに達する大雨があり、死傷者6名、床上浸水36戸、 床下浸水719戸、湖水位上昇に伴う冠浸水田3,377haの被害が生じた。
1972	S47.9.18	0.48m	台風20号	16日の降雨量は、彦根185mm、政所476mm、市場303mmと多く、さらに30~35m/sの最大瞬間風速を 伴う風が吹き、全半壊104戸、床上浸水486戸、床下浸水6,509戸、田畑の冠浸水22,260haの被害が生 じた。
1976	S51.9.14	0.74m	台風17号	8~14日の間に彦根293mm、木之本350mm、市場302mm、土山443mmの降雨があり、床上浸水16 戸、床下浸水507戸、田畑の流失埋没1,855haなどの被害が生じた。
1995	H7.5.11	0.93m(注)	梅雨前線	11~15日まで233mmの大雨。床下浸水7戸、田畑埋没流失878haなどの被害が生じた。

(注)琵琶湖5点平均水位

出典:「治水の歴史をたずねて」(琵琶湖工事事務所)

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

### 参2.4.1 平成7年5月洪水の状況

#### 【琵琶湖沿岸の浸水状況】



水に浸かった家屋と道路(滋賀県近江八幡市)



水に浸かった家屋と道路(滋賀県近江八幡市)



水に浸かった田んぼと道路(滋賀県近江八幡市)

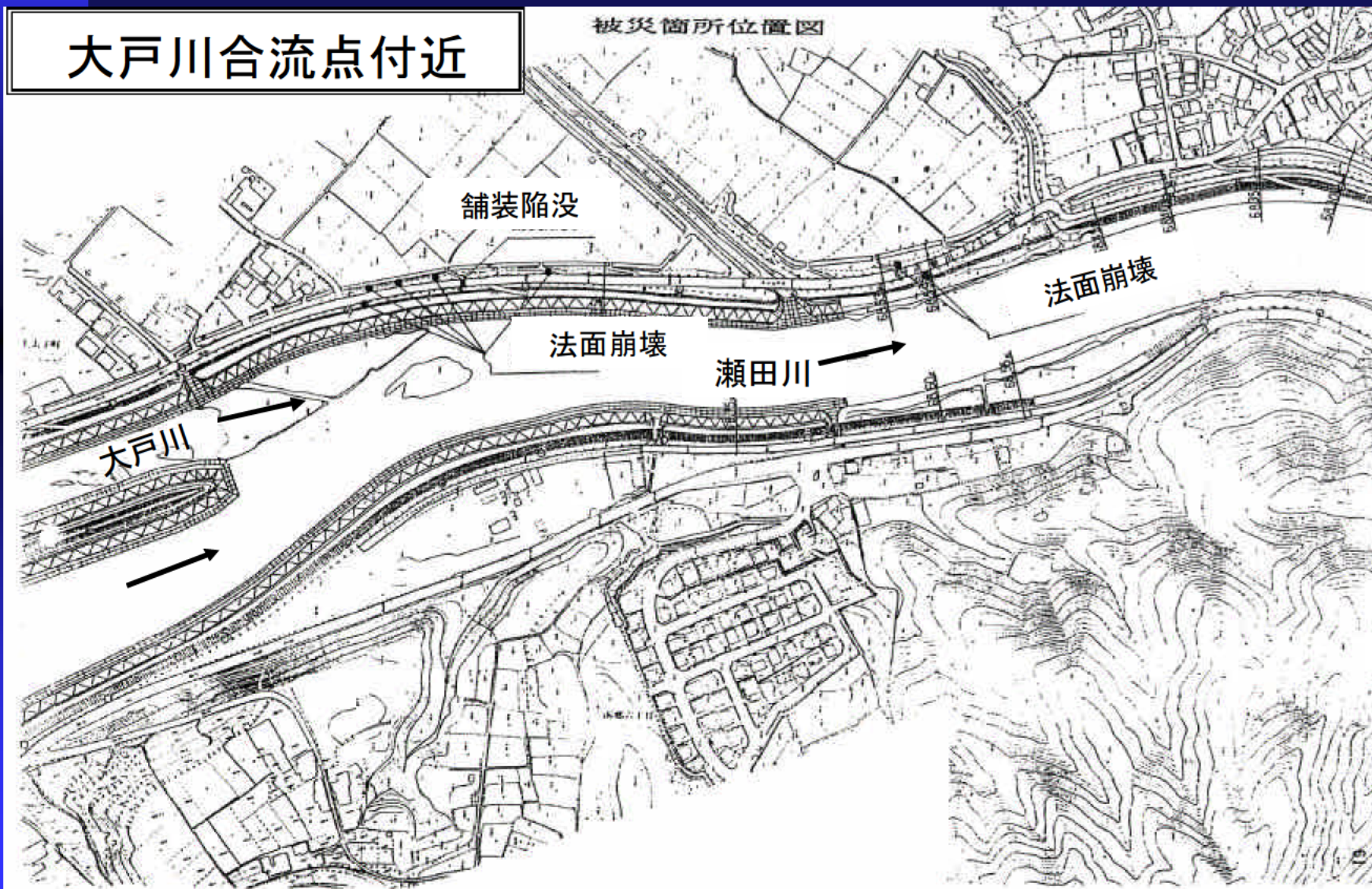


水に浸かったビニールハウス(滋賀県草津市)

## 参2.4 洪水別被害状況(琵琶湖)

### 参2.4.1 平成7年5月洪水の状況

#### 【琵琶湖後期放流による瀬田川の被害】



## 参2.4 洪水別被害状況(野洲川)

西暦	発生年月日	要因	水文状況(野洲)			被害状況※4
			※1 総雨量 (mm)	※2 最高水位 (m)	※3 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	
1885年	明治18年7月1日	台風	不明	不明	不明	破堤、浸田畑 00 ha
1889年	明治22年9月	不明	不明	不明	不明	破堤
1896年	明治29年9月7日	台風・ 前線	彦根 2日684	3.00	不明	破堤 死者7人 全壊流出・半壊流出78戸
1900年	明治29年9月28日	台風	彦根 3日171	不明	不明	破堤
1913年	大正2年10月2日	台風	土山 2日286	不明	不明	破堤 死者32人、負傷者55人、家屋全壊・流出212戸 床上・床下浸水2556戸
1914年	大正3年7月1日	前線	不明	不明	不明	死者2人 床上・床下浸水32戸 田畑流出、埋没数10ha
1918年	大正7年8月30日	台風	不明	不明	不明	破堤
1923年	大正12年6月16日 ~18日	台風	不明	不明	不明	破堤、橋梁流出
1953年	昭和28年8月14日	前線	土山 2日261	不明	不明	破堤、上流氾濫
1953年	昭和28年9月25日	台風 13号	304	3.17	(2,600)	破堤 死者3人、負傷者170人 全壊流出・半壊流出1713戸
1958年	昭和33年9月26日 (狩野川台風)	台風 22号	164	2.13	1,245	氾濫柚川、野洲側下流
1959年	昭和34年9月.26日 (伊勢湾台風)	台風 15号	383	2.38	1,610	破堤
1965年	昭和40年9月17日	台風 24号	237	0.70	2,580	破堤 死者1人 全壊流出・半壊流出411戸



## 参2.4 洪水別被害状況(草津川)

西暦	発生年月日	要因	水文状況(旭橋)			被害状況※4
			※1 総雨量 (mm)	※2 最高水位 (m)	※3 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	
1802年	享和2年6月29日	不明	不明	不明	不明	破堤 死者42人、負傷者22人、家屋全壊・流出287戸
1885年	明治18年7月1日	台風	不明	不明	不明	破堤
1953年	昭和28年9月24日 ~25日	台風 13号	257	不明	不明	破堤 家屋全壊 3戸、半壊43戸、床上浸水641戸 床下浸水2741戸
1961年	昭和36年6月24日 ~29日	前線	瀬田川 438	不明	不明	床上浸水 1戸、床下浸水306戸、堤防亀裂 6箇所 被災所帯11戸
1966年	昭和41年3月上旬	不明	不明	不明	不明	破堤 床上浸水 7戸、床下浸水285戸
1967年	昭和42年7月9日	前線	瀬田川 86	不明	不明	北川左岸 10m決壊、床下浸水30戸
1968年	昭和43年7月2日	前線	瀬田川 149	不明	不明	床上浸水25戸、床下浸水825戸、河川被害56箇所
1971年	昭和46年9月26日	台風 29号	瀬田川 98	不明	不明	床下浸水130戸
1982年	昭和57年7月31日 ~ 8月1日	台風 10号	瀬田川 275	不明	不明	床上浸水11戸、床下浸水201戸
1986年	昭和61年7月9日 ~12日	前線	162	不明	不明	損壊家屋 3戸、床下浸水176戸
1990年	平成2年9月19日	台風 19号	瀬田川 106	1.58	不明	水防団出動

## 参2.4 洪水別被害状況(三田川他7河川)

発生年月日	気象原因	総降雨量	記 事	参考資料
昭和 28 年 9 月 24～25 日	台風 13 号	274mm	死者 3 名,重傷 4 名,全壊家屋 15 戸,流失家屋 3 戸,半壊家屋 55 戸,床上浸水 147 戸,床下浸水 1097 戸,浸水面積 43ha	新聞記事1部 近畿水害報告
昭和 44 年 8 月 1～2 日	前線	185mm (192mm)	全壊家屋 1 戸,床上浸水 11 戸,床下浸水 51 戸 JR 大津～膳所不通,国道 1 号線不通, 浸水面積 38ha	新聞記事 2 部 滋賀県災害誌
昭和 47 年 9 月 16～17 日	台風 20 号	175mm (184mm)	床下浸水 898 戸,浸水面積 38ha	新聞記事 2 部 滋賀県災害誌
昭和 57 年 7 月 31～2 日	台風 10 号	328mm (172mm)	全壊家屋 1 戸(1 戸),一部損壊 3 戸(3 戸), 床上浸水 253 戸(4 戸),床下浸水 107 戸(87 戸), 浸水面積 18ha	新聞記事 2 部 滋賀県災害誌
昭和 62 年 7 月 14～21 日	梅雨前線	230mm (300mm)	床上浸水 171 戸,床下浸水 190 戸(36 戸) 浸水面積 15ha	新聞記事 3 部 滋賀県災害誌
平成元年 9 月 5～9 日	秋雨前線	108mm (158mm)	床上浸水 165 戸(2 戸),床下浸水 180 戸(13 戸) 浸水面積 15ha	新聞記事 1 部

注) 総降雨量は瀬田川(建設省), ( ) 書きは大津(气象台)の数値。

記事欄の数値は大津市全体の被害を示し、( ) 書きは大津放水路流域内数量が判明しているものを計上。

## 参2.4 洪水別被害状況(姉川・高時川)

洪水名	洪水による被害状況	備考
大正元年9月	高時川:小谷村で約 55 日間堤防決壊(滋賀県災害史)	
	姉川:神照村国友地先決壊(新聞記事)	
大正6年9月	高時川:東浅井郡堤防決壊(図書 東浅井)	
大正 10 年9月	高時川:北富永村雨森地先両岸堤防決壊(新聞記事)	
昭和5年	高時川:速水村八日市堤防決壊(聞き取り)	
昭和5年7月	高時川:余呉町堤防決壊(余呉町史)	
昭和 26 年7月	高時川:丹生村菅並地先堤防決壊(新聞記事)	
昭和 28 年9月	高時川:丹生堤防決壊(新聞記事) 姉川:虎姫町酢地先堤防 20m 決壊 姉川橋周辺氾濫 国友橋 3m 沈下	
昭和 34 年8月	姉川:今村橋、国友橋橋脚沈下(新聞記事) 浅井町堤防決壊(新聞記事)	
昭和 40 年9月	姉川:虎姫町唐国酢地先水田 420ha 冠水(新聞記事) 姉川右岸決壊(新聞記事) 浅井町佐野堤防決壊(新聞記事)	
昭和 47 年7月	高時川:余呉町菅並溢水(水害統計、聞き取り)	
昭和 50 年8月	高時川:びわ町錦織土手の一部破損(新聞記事) 虎姫町唐国地先堤防漏水(聞き取り) 余呉町上丹生・下丹生で破堤・溢水・浸水・洗掘・流出(水害統計、聞き取り)	